

## 市民一丸となって矢板中央高校サッカー一部を応援！



### 健闘を祈り市民有志が壮行会

12月13日（水）、矢板フットサルパーク長峰で、市民団体「まちづくり矢板」と「矢板中央高校サッカー部親の会」が主催する壮行会が開かれ、サッカー関係者や矢板東・矢板高校生も応援に駆け付けました。ウェルフェススペシャルサポーターの久世詠斗さんの歌による応援や、国際審判員の相楽亨さんから激励の言葉が送られたほか、選手たちに芋煮、焼きそばが振る舞われました。

高橋監督からは「市民の方から今まで以上に温かい応援をたくさんいただいている。全国大会では悔いのない試合をしたい」と決意が語られました。



### 全国大会に向け激励を送る

12月26日（火）、東泉にある矢板中央高校サッカー部のグラウンドで、市・商工会が主催する壮行会が開かれました。市長・商工会長からは「悔いのないプレーをしてほしい」との激励の言葉とともに、全国大会に向けた激励金が高橋監督に手渡されました。また、婦人会の方から、午前の練習を終えた選手たちに、具材たっぷりのとん汁やおにぎりが振る舞われました。

稲見主将は「たくさんの応援をいただいているのを感じる。応援してくれている全ての方に精いっぱいプレーで恩返ししたい」と決意を話してくれました。



### 手作り人形で応援！

12月27日（水）、末広町の高齢者サロン「オレンジカフェ」の利用者の皆さんが矢板中央高校を訪れ、サッカー部のために手作りしたマスコット人形「たかはら君」5体を贈呈しました。この人形は、赤と黒のユニフォームを着たサッカー部の選手たちの姿をイメージし、「頑張っている選手の皆さんを応援したい」と気持ちを込めて作られました。

「たかはら君」を受け取った選手たちは、「よい結果を残せるよう、一緒に戦いたい」と意気込みを語ってくれました。



## 新成人おめでとうございます！

1月7日（日）、文化会館大ホールで、成人式実行委員9人を中心に平成30年成人式が行われ、晴れ着姿に身を包んだ273人の新成人が出席しました。式典では、新成人全員で市民憲章を唱和したほか、新成人を代表して実行委員の豊田さんが誓いの言葉を述べました。また、記念事業として、恩師からのビデオレターが流れると、会場からは笑顔と歓声が沸き起こりました。

会場の外では、友人と久しぶりに再会した歓喜の音が響く中、記念撮影をしたり近況を語り合ったりするなど、にぎやかな晴れの日を迎えていました。



### 12/16 (土) やいた de マルシェ

17日（日）にかけ、文化会館小ホールで「第10回やいた de マルシェ」が開催されました。このイベントは、市内のオリジナル絵本専門店・鈴木さんが主催となり、「みんなで楽しんで、笑顔になれる機会をつくり、矢板を盛り上げよう」と行われているものです。

飲食、ワークショップ、手作り雑貨販売、マッサージなど、2日間で計59ブースが設けられたほか、初の夕方開催となった当日は、冬の文化祭と称し、フラダンス・吹奏楽の発表やキャンドルナイトも行われました。



### 12/20 (水) 中学生サンタがやってきた

かしわ幼稚園にサンタ帽をかぶった矢板中学校の生徒が訪れ、園児にクリスマスカードを手渡しました。これは、生徒会を中心に「誰かの笑顔のために」と行っている活動の一環で、「授業でお世話になった方たちにクリスマスカードを贈ろう」と生徒から提案があり、行われたものです。生徒たちが手作りした約200枚のクリスマスカードは、幼稚園のほか、老人ホームなどにも届けられました。

生徒は「心を込めて作ったクリスマスカードを喜んで受け取ってもらえてうれしい」と話してくれました。



12/20 (水) 地域企業に関心を

矢板東高校で、「企業との交流会」が初開催されました。これは、市・商工会・高校が協力し、地域企業に関心を持ってもらう目的で開いたもので、定時制の生徒23人が参加しました。集まった12の企業担当者から会社概要や求める人材などの話があった後、生徒たちは希望する企業のブースを訪れ、さらに詳しい説明を聞きました。生徒からは「業務内容に特長があり魅力的な企業が多いと思った。企業の方から詳しい話を直接聞くことができたので、就職の参考にしたい」との感想がありました。



12/26 (火) ロータリークラブ周年事業

矢板駅東口駅前広場で「矢板ロータリークラブ発足50周年記念事業完了式」が開かれました。これは、周年事業の一環として、老朽化が進んでいた矢板駅東口時計台の修繕をしたほか、以前にクラブで設置した記念碑や標柱の取り換え・保全作業を行ったものです。櫻井会長は「今まで親しまれてきたものを保全し、活用していくことは大切であるとの思いから、今回のような事業内容にした。これからも市民の方に愛されるクラブ活動を続けていきたい」と話してくれました。



1/6 (土) 正月イベント

矢板武記念館と郷土資料館で、正月イベント「遊びに行くべ〜あのお正月をもう一度!〜」が開催されました。これは、失われつつある日本の伝統文化を子どもたちに継承することを目的に開かれているもので、小学生や親子連れなど約250人が来場し、にぎわいをみせました。参加者からは「ベーゴマが面白いと言って、子どもがずっと遊んでいる。凧あげや竹とんぼなど、昔の遊びでも魅力的なものがたくさんあると感じた」との感想がありました。



1/7 (日) 3 武道合同鏡開き

市武道館で、普段から武道館を利用している柔道・剣道・空手道の指導者や子どもたちによる3武道合同の鏡開きと新年初稽古が行われました。式典では、集まった関係者総勢約180人を前に模範演技が行われたほか、各武道の代表者が新年の抱負を述べました。その後の昼食会では、保護者手作りのけんちんうどんやお餅を、膝を交えて食べるなど、団体の枠を超えて親睦を深めました。剣道代表で抱負を述べた築瀬くんは「練習を頑張っって初段を目指したい」と意気込みを話してくれました。



1/8 (祝・月) 泉地区新春講演会

泉公民館で、「第15回泉地区むらづくり新春講演会」が開催されました。今回は、「認知症高齢者を理解しあたたかい人間関係を」と題し、NPO 傾聴ボランティア“ありのまま”グループ会長、で、県傾聴ボランティア連絡協議会長でもある黒川貢氏に、認知症となった家族と関わっていくときに気を付けるべきことや、認知症にならないための生き方について、講演していただきました。黒川氏の体験談を交えたユーモアあふれる話に、参加者からは笑い声の絶えない講演会となりました。



1/9 (火) 県女性・名誉農業士認定

県女性農業士に認定された手塚みち子さん（東泉）と県名誉農業士に認定された藤田ヒロ子さん（鹿島町）が、市役所を訪れ、認定の報告を行いました。手塚さんは、平成18年から認定農業者として、積極的に経営改善に取り組むとともに、環境にやさしい米づくりを行い、地域農業の活性化に尽力されていることが認められました。藤田さんは、平成13年に県女性農業士として認定された後、女性農業者のリーダーとして農村女性の地位向上に寄与していることが認められました。



▲左から  
・手塚さんご夫妻  
・齋藤市長  
・藤田さんご夫妻

1/10 (水) JA いちご贈呈式

市役所で、JA しおのや稲澤代表理事組合長から、いちごの贈呈がありました。これは、JA グループ栃木が一体となって取り組んでいるもので、県の特産品である「いちご」を県内小・中学校に学校給食として提供することで、食への関心、食を支える農業の役割を感じてもらうことを目的に行っているものです。市長からは「給食ではいちごのゼリーとして子どもたちに提供し、これを機に、地産地消や食育を通じて農作物の生産振興に努めたい」との言葉がありました。



▲左から  
・JA しおのや  
稲澤代表理事組合長  
・齋藤市長

1/15 (月) 矢小吹部・東日本大会へ

「2018 全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会」の出場を決めた矢板小学校吹奏楽部の部長・副部長が市長を表敬訪問しました。同部は、11月19日（日）に開催された栃木大会で優秀な成績を収め、東日本大会に出場する2校に選ばれました。東日本大会は、2月10日（土）に横浜みなとみらいホールで開催されます。部長の藤田六花さんからは「先生方に教えてもらいながら、みんなで練習を頑張ってきた。本番でも納得のいく演奏ができるようにしたい」との抱負が語られました。



▲(前列左から) 齋藤市長・加藤遥那さん・藤田六花さん・廻谷慶子さん (後列左から) 橋本教諭・石川校長・村上教育長